血糖測定に必要なもの

■測定器：アキュチェックアビバナノ

■試験紙：アキュチェックアビバストリップF

■穿刺器具：マルチクリックス　（黒）

■ランセット（針）：マルチクリックスランセット

■アルコール綿／ティッシュペーパー／自己管理ノートなどは必要に応じてご自身でご用意ください。

※製品及び製品の包装デザインは予告なく変更することがあります。

電池の交換

電池マークが表示されたら、電池の交換時期です。

アキュチェックアビバナノに使用する電池は

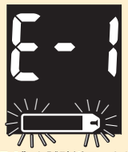
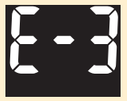
CR-2032

2個です。

1 裏面の電池ボックス引き出し口を引っ張り電池ボックスを取り出します。

2 新しい電池の－（マイナス）の面を上にしてセットして、電池ボックスを元の位置に戻します。

画面メッセージについて

表示	原因と対応
HIが表示される	測定結果が600mg/dLを超えています。 ◇すみやかに医師の指示に従ってください。 ⚠測定結果がおおよそ2,000mg/dLを上回った場合には「E-3」と表示される可能性があります。
LOが表示される	測定結果が10mg/dLを下回っています。 ◇すみやかに医師の指示に従ってください。 ⚠測定結果が極端に低い場合はごくまれに「E-1」と「試験紙マーク」が表示される可能性があります。
 "E-1"と試験紙マークが表示される	試験紙に問題が起きました。 ◇新しい試験紙をご使用ください。 試験紙の差し込み方が間違っています。 ◇試験紙の差し込み方向を確認して入れ直してください。
 "E-3"が表示される	測定中にエラーが発生しました。 ◇新しい試験紙で測定し直してください。 血糖値が2,000mg/dLを超えている疑いがあります　。 ◇すみやかに医師の指示に従ってください。 ⚠この表示が示された場合、機器・試験紙の問題によるエラーであるか、高値のためのエラーであるか判別できませんのでご注意ください。
"E-6"と試験紙マークと血液マークが表示される	血液又はコントロール液をつけるのが早すぎました。（血液マークが画面に表示される前に血液又はコントロール液をつけました。） ◇新しい試験紙で測定し直してください。 ⚠画面に試験紙マークと血液マークが表示されるのを確認してから測定を行ってください。
"E-8"と温度計マークが表示される	気温が測定器の許容範囲（8～44℃）外です。 ◇8～44℃の場所に移動して5分後にもう一度測定してください。 測定器を人為的に温めたり冷やしたりしないでください。
"E-9"と電池マークが表示される	電池切れです。 ◇すぐに電池を交換してください。 ⚠何らかの影響によって一時的に電池の性能が低下している場合もあります。 このような疑いのある場合はセットされている電池を一旦取り出して、再度セットしてみてください。繰り返し表示されるようでしたら、電池を交換してください。

※その他の画面メッセージについては取扱説明書をご参照ください。

日付・時刻の確認・設定

（電池を交換した際に必要です。）

日付・時刻の変更の必要がなく、設定画面を終了する場合は、電源ボタンを4秒以上押し続けてください。

通常の測定用の画面に戻ります。

〈「Set-up」表示にする〉

1 ①電源ボタンを押す
②日付・時刻と試験紙マークの表示
③電源ボタンを4秒以上押す

2 日付・時刻と「Set-up」が点滅表示される

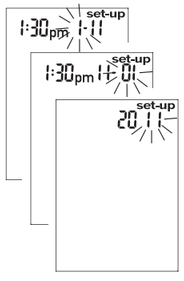
3 現在の時刻になっているか確認し、ボタンで調整する

4 電源ボタンを押して時間を確定する

5 続いて「分」が点滅する。同様にで調整し、電源ボタンで確定する

6 am／pmをで選択し、電源ボタンで確定する

7 月、日、年も同様に確認・設定する



8 ①電源ボタンを4秒以上押す
②試験紙マークの表示
［終了］③もう一度電源ボタンを押し電源を切る

お問い合わせは下記の「ロシュにハロー お客様センター」へ

フリーダイヤル　ロシュに　ハロー
0120-642-860
24時間 365日

アキュチェックWebサイト http:/www.accu-chek.jp/

ACCU-CHEK®はロシュの血糖測定関連製品の登録商標です。

1018.DCD.GUY.10000.DC-55-005A

〈アキュチェックアビバ ナノの操作方法〉

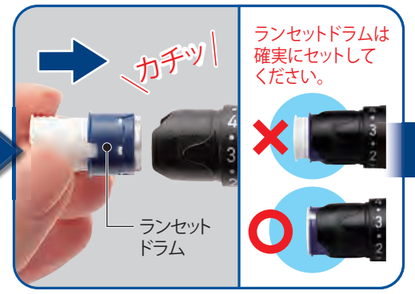
※本品は個人使用の製品のため、絶対に複数の人で使いまわさないでください。
※２本目以降のランセット（針）をご使用の際は、ご使用前に必ず手でプランジャーを回して新しい針に換えてください。針は自動的には換わりません。

測定器にコードキーが差し込まれていることを確認してください。差し込まれていない場合は、下記の「ロシュにハローお客様センター」へお問い合わせください。

フリーダイヤル　ロシュに　ハロー
0120-642-860
24時間 365日

1. 本体キャップを外す

2. ランセットドラム（針）をセットする



3. 本体キャップをはめる

4. プランジャー表示部の数字を確認する

5. 深さを調節する

6. プランジャーを押す

7. 試験紙を1枚取り出し、すぐ閉める

8. 試験紙をセットする

9. 測定器と試験紙容器のコード番号を確認する

10. 穿刺（せんし）ボタンを押して穿刺する

11. 血液を付ける

12. 結果を確認する

13. 試験紙のあとかたづけ

２本目以降の使い方

1. プランジャーを90度回 転させて元に戻しランセットをセットする

穿刺ボタンが黄色のセット状態ではないことを確認してください。セット状態のまま回すと故障の原因になります。

2. 深さを調節する

3. プランジャーを押す

表示部の数字で残数を確認できます。
数字が「1」になったら新しいランセットドラムと交換してください。

ランセットドラムの廃棄方法

プランジャーの数字が「1」になったら…

穿刺器具本体のキャップを外し、ランセットドラムを引っ張り、外します。

使用後のランセットドラムについて

ランセットドラムは穿刺器具から抜いたら再度セットできません。

使用後のランセットドラムは赤い線がでています。

使用済みの試験紙やランセットの廃棄方法については、お住まいの地区の自治体又は各医療機関等にお問い合わせください。